

秘

大正四年七月七日會議議決

- 一 臺灣總督府官制中改正ノ件
- 一 臺灣總督府地方官官制中改正ノ件
- 一 臺灣總督府蕃務警視特別任用ニ關スル件

(参照添附)

勅令第 號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十七條中「二署」一署ニ改メ「蕃務本署」ヲ削ル

第十九條中「警視專任八人奏任」次ニ「蕃務警視專任二人奏任」ヲ加ヘ「八人」ヲ「三人」ニ「三十人」ヲ「二十九人」ニ「四百十

八人ヲ三百九十六人ニ改メ、蕃務總長一人勅任ヲ削ル

第二十二條中、蕃務總長ハ蕃務本署ノ長ト為リ及、各ヲ削ル

第二十六條中、又ハ蕃務本署ヲ削リ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

蕃務警視ハ警察本署ニ屬シ上官ノ

命ヲ承ケ蕃務ヲ掌ル

第三十一條中、又ハ蕃務本署ヲ削ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

卷四

○臺灣總督府官制

明治三十年十月
勅令第三百六十二号

第七條 民政部ニ左ノ四局ニ署一署及三部

ヲ置ク

財務局

通信局

殖産局

土木局

警察本署

蕃務本署

地方部

法務部

學務部

通信局、測候所及燈臺ヲ附屬セシム

第十九條 總督府ニ左ノ職負ヲ置ク

民政長官 一人 勅任

局長 四人 勅任

警視總長 一人 勅任

審務總長 一人 勅任

參事官 專任三人 奏任 内一人ヲ勅任ト為ス

事務官 專任十四人 奏任

警視 專任八三人 奏任

審務警視 專任二人 奏任

視學官 專任一人 奏任

編修官 專任一人 奏任

稅務官 專任二人 奏任

技師 專任三十三人 奏任 内二人ヲ勅任ト為ス

海事官 專任二人 奏任

翻譯官 專任二人 奏任

屬

警部

視學

編修書記

技手

通譯

三百九十六人

專任四百十八人

判任

各測候所ヲ通シテ技師一人技手十九人ヲ置キ各燈臺ヲ通シテ看守三十九人ヲ置ク測候所技師ハ奏任測候所技手及燈臺看守ハ判任トス

第二十二條 警視總長ハ警察本署ノ長ト為リ、

蕃務總長ハ蕃務本署ノ長ト為リ總督及民政長官ノ命ヲ承ケ各其ノ主務ヲ掌理シ事務ノ執行ニ関シ廳長及警察官ヲ指揮監督ス

第二十六條 警視ハ警察本署又ハ蕃務本署ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ其ノ事務ヲ掌ル

蕃務警視ハ警察本署ニ屬シ上官ノ命ヲ承ケ蕃務ヲ掌ル

第三十一條 警部ハ警察本署又ハ蕃務本署ニ屬シ上官ノ指揮ヲ承ケ其ノ事務ニ従事ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

臺灣總督府地方官官制中左ノ通改正ス

第二條中「十一人」ヲ「十四人」ニ改ム

第三條中「千三百三十五人」ヲ「千三百六十

八人」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

参照

○臺灣總督府地方官官制

明治三十四年十一月
勅令第三百二号

第二條 各廳に左ノ職員ヲ置ク

廳長 奏任 一人

屬 判任

警部 判任

技手 判任

通譯 判任

警部補 判任

前項職員、外俸給豫算定額内ニ於テ各廳ヲ

通シテ事務官十五人警視十一人十口人及技師十人ヲ置クコトヲ得

事務官警視及技師ハ奏任トス

第三條 廳到任官ハ各廳ヲ通シテ專任千三百三十五人千三百六十八人ヲ以テ定員トス各廳ノ定員ハ臺灣總督之ヲ定メ其ノ各官ノ定員ハ臺灣總督ノ認可ヲ經テ廳長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

臺灣總督府蕃務警視ハ五年以上蕃務警

察ニ従事シ現ニ判任官三級俸以上ノ職

ニ在ル者ノ中ヨリ文官高等試験委員ノ

銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年勅令第百九十五號ハ之ヲ
廢止ス

明治四十四年勅令第百九十五號第一條
ノ規定ニ依リ任用セラレタル臺灣總督
府警視ニシテ現ニ其ノ職ニ在ル者ハ本
令施行ノ際ニ限り特ニ臺灣總督府蕃務
警視ニ任用スルコトヲ得

参照

○蕃務ニ従事スル臺灣總督府警視特別任
用令
明治四十四年七月
勅令第百九十五号

第一條 蕃務ニ従事スル臺灣總督府警視ハ五
年以上蕃務又ハ警察事務ニ従事シ現ニ判任
官ニ級俸以上ノ職ニ在ル者ノ中ヨリ文官高
等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコト
ヲ得

前項ノ規定ニ依リ任用セラレタル者ハ高等
官三等ニ陞叙スルコトヲ得ス

第二條 蕃務ニ從事スル臺灣總督府警視ハ當分ノ内陸軍佐尉官ノ中ヨリ文官高等試験委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ任用セラレタル者ノ官等ニ付テハ高等文官轉任ノ例ヲ準用ス

(附則 畧)

參照

○高等官官等俸給令中改正勅令案

(采書ハ改正案)

第八條 勅任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ

臺灣總督府各局長	年俸	一級 三千七百圓
臺灣總督府警視總長		二級 三千三百圓
臺灣總督府蕃務總長		
臺灣總督府專賣局長		

(前後略)

第十九條 別表第二表第三號ニ依リ其ノ俸給
官等ニ相當セザル諸官左ノ如シ

朝鮮總督府典獄

朝鮮總督府府事務官

朝鮮總督府郡守

朝鮮總督府島司

臺灣總督府蕃務官

臺灣總督府典獄

臺灣總督府警察官及司獄官練習所舎監

(前後略)

第一表

臺灣總督府						官等	文武高等官官等表
					臺灣總督	親任	
					民政長官	一等	
					同上	二等	
					同上	三等	
						四等	
						以下略	
警視總長	土木局長	殖産局長	通信局長	財務局長			任

督 府			
阿 里 山 作 業 所 長	專 賣 局 長	臺 灣 總 督 府 參 事 官	蕃 務 總 長

秘

臺灣總督府官制中改正ノ件臺灣總督府
 地方官官制中改正ノ件及臺灣總督府蕃
 務警視特別任用ニ關スル件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ臺灣總督府官制中改正ノ件
 外ニ件ヲ審査スルニ右三件ハ先般臺灣ニ於ケ
 ル蕃界討伐ノ業略成就シ茲ニ理蕃事務一段落
 ヲ告ケタルニ依リ其ノ事務ノ整理ヲ計ルノ必
 要ニ出テタルモノニシテ(一)臺灣總督府官制中
 改正ノ件ハ總督府ニ於ケル蕃務本署ヲ廢シ其
 ノ事務ノ一部ヲ地方廳ニ移シ蕃務總長ヲ廢官

トシ蕃務本署ニ属スル警視五人警部二十一人
技師一人技手三人ヲ減シ更ニ蕃務警視二人ヲ
置キテ蕃地監察ニ當ラシメムトシ尚右ノ外臺
灣戸籍令施行準備ノ為メ属二人ヲ増置マムト
スルモノナリ(二)臺灣總督府地方官官制中改正
ノ件ハ從來臺灣總督府蕃務本署ニ属シタル事
務ノ一部ヲ地方廳ニ移シタルニ依リ警視三人
ヲ増シ先般歸順シタル蕃界ヲ管轄スル南投廳
及花蓮港廳ノ警務課長及タロコ蕃ヲ管轄スル
花蓮港廳新城支廳長ニ充テ尚警部十八人警部

補三人ヲ増シ通譯一人ヲ減シ更ニ今回宅地租
徵收等ノ事務ノ為メ各廳ヲ通シ属十三人ヲ増
サムトスルモノナリ(三)臺灣總督府蕃務警視特
別任用ニ關スル件ハ蕃務警視ハ特別ノ経歴ア
ル者ヨリ之ヲ特ニ任用シ得ルノ途ヲ辨カムト
シ現行ノ蕃務ニ従事スル臺灣總督府警視特別
任用ノ規定ハ其ノ必要ナキニ依リ之ヲ廢止シ
且本令施行ノ際ニ限リ從來蕃務ニ従事スル臺
灣總督府警視ハ之ヲ蕃務警視ニ任用スルコト
ヲ得ルコトトスルナリ以上三件何レモ支障ナ

レト認ムルニ依リ之ヲ可決マラレ然ルヘシト
思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正四年七月二日

樞密院書記官長有松英義

樞密院議長公爵山縣有朋殿

大正四年七月七日 議決
會議議案

秘

摩洛哥國佛領地帯ニ於ケル領事裁判權ノ撤
廢ニ關スル宣言書

(參照添附)